

# 復興プロジェクト開始

## ユニクロ NGOなどの活動を支援

ユニクロは東日本大震災の被災地支援のため、NGO(特定非営利活動法人)などと協働し、復興応援プロジェクトを立ち上げる。自立支援、雇用創出、経済復興を目的とした支援団体に3億円の資金を拠出し、活動を支援する。また、「ユニクロ」仮設店舗の2店の出店と、一時閉店していた福島県原町店を再開し、要望が強かった買い場の提供と、雇用創出を行う。

12年3月～15年2月末までの3年間、5団体でスタートし、10団体まで広げる予定だ。この他、3月1日からの3カ月間、ユニクロ全店で店頭で募金を行ったり、グループの従業員を各NGOに派遣してボランティア活動を実施する。

3月からの支援はJEN(ジエン)、ADR A(アドラ)シヤパン、国際ボランティアセンター山形、プラネットファイナンスシヤパン、東北共益投資基金の5団体に行う。これらの団体はマイクロファイナンスなどを利用した起業サポート、コミュニティ形成の支援、復興応援セ

ンターの運営などの実績とノウハウを持ち、岩手、宮城、福島の被災地で活動を行っている。ユニクロでは3月9日に仮設店舗として宮城県に気仙沼店(店舗面積約99平方メートル)、岩手県にシーラザ釜石店(同264平方メートル)を開店。同日には福島県南相馬市の原町店を再開する。釜石店や原町店では現地でスタッフも雇用する。

2012.2.29 毎日新聞

# 被災地に雇用を

## 「ユニクロ」来月3店舗開設

ユニクロを展開するファーストリテイリング(山口市)は28日、復興支援プロジェクトとして来月9日、被災地に3店舗をオープンすると発表した。また自立支援や雇用創出のため被災地で活動する団体に年間2000万円を3年間贈る。柳井正会長は会見で「若者に自立可能な雇用の場を作れるよう、NGOと一緒に支援したい」と話した。

## NGOには年2000万円支援



柳井会長(中央)と協働団体メンバーら(東京都港区で)

杉ノ沢、11～20時)▽釜石店(釜石市釜石市鈴子町、9～18時、火曜日定休)▽原町店(福島県南相馬市原町区北原境堀、ピアフレスコ内、平日11～20時、土日10～20時)。気仙沼店と釜石店は1年間の設置。アルバイトも募集中で、釜石店で約10人、原町店は約30人が必要だという。希望者は採用センター☎03・56551・1214(10～20時)へ。

ユニクロと協働し被災地で活動する団体は、NPO法人の▽JEN▽ADR A Japan▽国際ボランティアセンター山形▽プラネットファイナンスシヤパンと、一般財団法人の東北共益投資基金。5団体に支援する3億円は売り上げの一部を充てる。また来月1日から3カ月間、ユニクロ全店で募金活動を行い、このプロジェクトに充てる。【神真理子、写真も】

# 被災地活動でユニクロを支援

ユニクロは28日、東日本大震災の被災地で活動する非政府組織（NGO）などに資金援助し、長期的な復興支援に協力すると発表した。当面、NPO法人国際ボランティアセンタ

ー山形（山形市、枝松直樹代表理事）など5団体に3年間で計3億円を提供する。

柳井正会長兼社長は「インフラ建設の話ばかりで生活の復興ができていない。被災者が快適でふつうに暮らせるよう応援し、雇用の提供にも協力したい」と話した。

対象は東北3県などの被災地で活動する団体。ま

ユニクロ 復興応援プロジェクト



NGOを通じた被災地支援を発表したユニクロの柳井正会長兼社長（中央）とNPO法人国際ボランティアセンター山形の安達三千代事務局長（左から2人目）ら

28日午後、東京都港区

ずは仮設住宅の生活や中小企業の再建を支援しているNPO法人「JEN（じえん）」（東京都）など5団体に資金を提供。さらに5団体ほどの参加も募る。

ユニクロはまた、3月9日に岩手県釜石市と宮城県気仙沼市で仮設店舗をオープン、福島県南相馬市では休業していた「ユニクロ原町店」も再開し、計約70人を地元で雇用する。